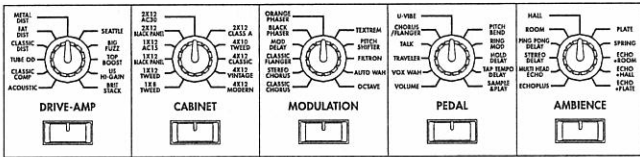


TONEWORKS

AX1000G

MODELING SIGNAL PROCESSOR



安全上のご注意

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには 以下の指示を守ってください

警告



- 本製品を使用する前に、以下の指示をよく読んでください。
- ACアダプターを使用する場合は、必ずAC100Vの電源コンセントにACアダプターを差し込んでください。
- 次のような場合には直ちに電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから抜きます。そして、コルグ営業所またはお買い上げになった販売店に修理を依頼してください。

- ACアダプターの電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 製品が（雨などで）濡れたとき
- 製品に異常や故障が生じたとき

- 次のような場所での使用や保存はしないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光のあたる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ホコリの多い場所



- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず最寄りのコルグ営業所またはコルグ営業技術課に相談してください。
- ACアダプターのコードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。コードに傷がつき危険です。
- 本製品をヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程度の音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対にいれないでください。
- 本製品およびACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。



注意



- 本製品は正常な通気が妨げられることのない所に設置して、使用してください。
- 本製品はマイクロコンピュータを使用した機器です。このため他の電気機器を接近して同時にご使用になりますと、それらに雑音が入ることがあります。逆に他の電気機器から本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。
- ACアダプターをご使用になる場合は、必ず指定のものをご使用ください。他のアダプターをご使用になりますと故障の原因となります。また、使用後はACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ACアダプターは他の電気機器の電源コードと一しょにタコ足配線することは危険です。



- スイッチやツマミに必要な以上の力を加えますと故障の原因となりますので注意してください。
- 外装のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。ベンジンやシンナー系の液体は絶対にご使用にならないでください。（コンパウンド質、強燃性のポリッシャーも不可）。
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、絶対にコードを引っばらないでください。故障の原因となります。



1.はじめに

このたびはトーンワークス・モデリング・シグナル・プロセッサAX1000Gをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

AX1000Gを末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。また、取扱説明書は大切に保存してください。

主な特長

- コルグのモデリング・テクノロジー“**BEMS**”による緻密で迫力のあるモデリング・サウンドが手軽に使用できます。
- 56種類のモデリング・エフェクト・バリエーションを内蔵し、最大8種類のエフェクトを同時に使用できます。
- 40(4×10バンク)プリセット・プログラムと、書きかえができる40(4×10バンク)ユーザー・プログラムを内蔵しています。
- エクスプレッション・ペダルで、11種類のペダル・エフェクトをリアルタイムにコントロールすることができます。
- フット・スイッチを使ってエフェクトを個々にオン、オフできるインディビジュアル・モードがあります。
- 自分で弾いたフレーズを録音(最大8秒間)し、ペダル操作により再生させるサンプル&プレイ機能を内蔵しています。
- オーディオ機器の音を録音(最大16秒間)し、ピッチを変えずに再生スピードを遅くできるフレーズ・トレーナ機能を内蔵しています。
- 練習に便利なメトロノームを内蔵しています。
- AUX IN端子を装備しているので、接続したオーディオ機器に合わせて演奏することができます。
- バイパス、ミュート時にオート・クロマチック・チューナーでチューニングができます。
- LCD(液晶ディスプレイ)を用いた、わかりやすいインターフェースを採用しています。
- LCDバックライトを採用、暗い所でも表示を見ることができます。

BEMSとは?

BEMS(Resonant structure and Electronic circuit Modeling System)は、生楽器や電気/電子楽器の発音メカニズム、発音された音がボディー/キャビネットで共鳴するメカニズム、その音が出ているフィールドの空気感、音の伝達経路としてマイク、スピーカなどの電気/音響的特性、真空管、トランジスタなどの電気回路による音の変化など、音色に関わる様々な要因を緻密にデジタルで再現したコルグ独自のモデリングテクノロジーです。

AX1000Gの内蔵のエフェクトは、ビンテージや定番と呼ばれているエフェクター、アンプヘッド、アンプ・キャビネット等の音を再現しています。名称は明記してませんが、そのモデルを知っている人ならすぐに分かるはずですよ。そうでない方もAX1000Gの音には十分満足できるでしょう。いずれにしてもエフェクトのクオリティと多様さ、簡単なユーザーインターフェイスには感動してもらえるはずです!

本誌を読む上での注意

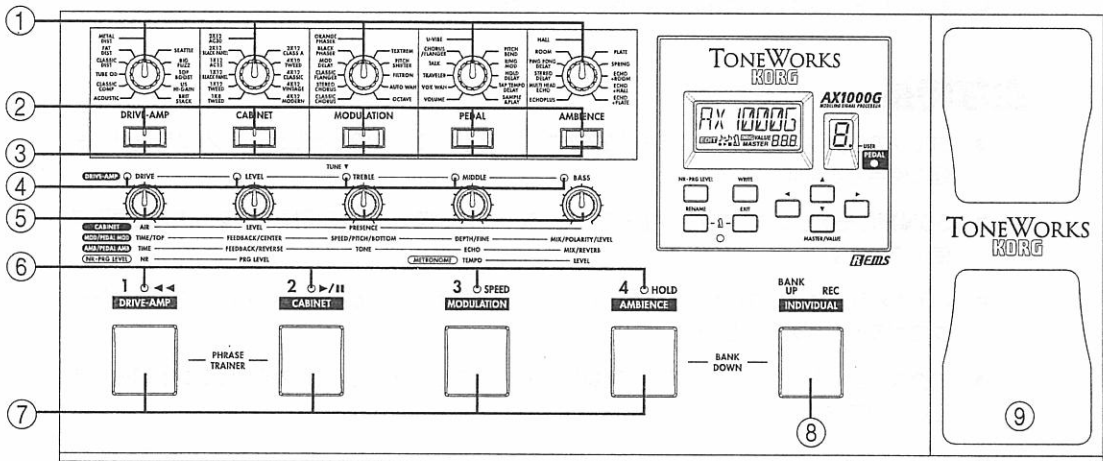
 は操作上の注意を表します。

LCDの表記は動作例を示したもので、実際の表示と必ずしも一致してない場合があります。

これだけはおぼえよう

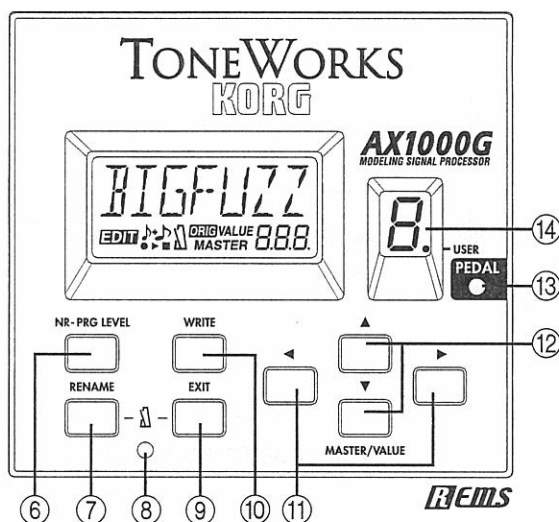
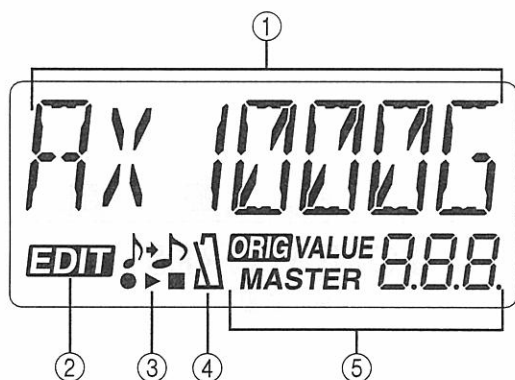
各部の名称とはたらき

フロント・パネル



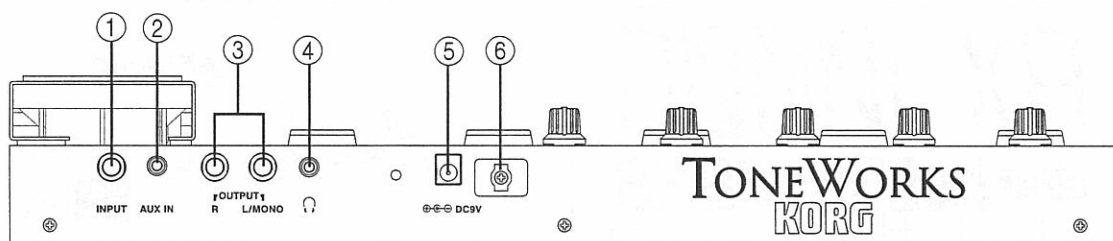
- ① エフェクト選択ツマミ
各エフェクト・ブロックで使用するエフェクト・モデルを選択します。
- ② エフェクト・ブロックLED
使用中のエフェクト・ブロックが点灯します。また、エディット中にそのエフェクト・ブロックが選択されているときは点滅します。
- ③ エフェクト・ブロック選択スイッチ
エフェクト・ブロックをオン、オフにしたり選択するときに押します。
- ④ バリューLED
選択されたエフェクト・モデルで使用できるバリュー・ツマミに合わせて点灯します。左からバリュー・ツマミ1～5に対応しています。
- ⑤ バリュー・ツマミ
エディット時に、エフェクトごとに割り当てられたパラメータの値を変更します。左からバリュー・ツマミ1～5です。
エディット以外のおときは、選んだプログラムで使われているDRIVE-AMPエフェクト・ブロックのエフェクトのパラメータが割り当てられています(P.12「DRIVE-AMPエフェクト・ブロックのクイック・エディット」参照)。
- ⑥ プログラムLED
現在選ばれているプログラム・ナンバーのLEDが点灯します。
- ⑦ プログラム・スイッチ
プログラムを選択します。
- ⑧ バンク・スイッチ
押すたびにバンク・ナンバーが1つ上がります。バンク・スイッチとプログラム・スイッチ4を同時に押すと、バンク・ナンバーが1つ下がります。
- ⑨ エクスプレッション・ペダル
PEDALエフェクト・ブロックで選んだ、エフェクトをコントロールします。

LCD、コントロール・パネル



- ① **ネーム・ディスプレイ**
各動作時に、プログラム名/エフェクト名/パラメータ名等を表示します。
- ② **エディット・アイコン**
エディットしたプログラムがライトされていないときに点灯します。また、プログラムのエディット中は点滅します。
- ③ **フレーズ・トレーナー・アイコン**
フレーズ・トレーナー・モードに入ったときに点滅します。
- ④ **メトロノーム・アイコン**
メトロノームがオンのときに点灯します。また、メトロノームのテンポやレベルの設定中は点滅します。
- ⑤ **MASTER/VALUEディスプレイ**
マスター・レベルやパラメータの値を表示します。
- ⑥ **NR-PRG LEVELスイッチ**
ノイズリダクションのかかり具合と、プログラムごとのレベルを設定するときに使います。
- ⑦ **RENAMEスイッチ**
プログラムの名前を変更するときに使います。
- ⑧ **メトロノームLED**
メトロノームのテンポにあわせて点灯します。
- ⑨ **EXITスイッチ**
プレイ・モードに戻るときに使います。
- ⑩ **WRITEスイッチ**
エディットしたプログラムを保存するときに使います。
- ⑪ **カーソル・スイッチ(◀、▶)**
エディットするパラメータの選択や、プログラム名の変更等に使います。
- ⑫ **MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)**
マスター・レベルやパラメータの値を変更するときに使います。
- ⑬ **ペダルLED**
PEDALエフェクトのオン、オフ表示や、サンプル&プレイ機能にしたときの録音状態などを表示します。
- ⑭ **バンク・ナンバー・ディスプレイ**
選んでいるプログラムのバンクを表示します。ユーザー・プログラムのときは、バンク・ナンバー右下の"."が点灯します。

リア・パネル



- ① INPUT端子
ギターを接続します。
- ② AUX IN端子(ステレオミニ)
使用するオーディオ機器の出力(AUX OUT: アナログ)を接続します。
- ③ OUTPUT端子(L/MONO、R)
ギター・アンプやミキサー等と接続します。モノラルで接続する場合は、L/MONOに接続してください。
- ④ Ω : PHONE端子(ステレオミニ)
ヘッドホンを接続します。
- ⑤ DC9V
付属のACアダプター(コルグA30960J $\oplus\ominus$)を接続します。接続すると、電源が自動的にオンになります。
- ⑥ コードフック
ACアダプターのコードを引っかけておきます。コードをフックから外すときは、コードを無理に引っ張らないでください。

AX1000Gの各モード

AX1000Gには、大きく分けてプレイ・モード、インディビジュアル・モード、フレーズ・トレナー・モードの3つのモードがあります。

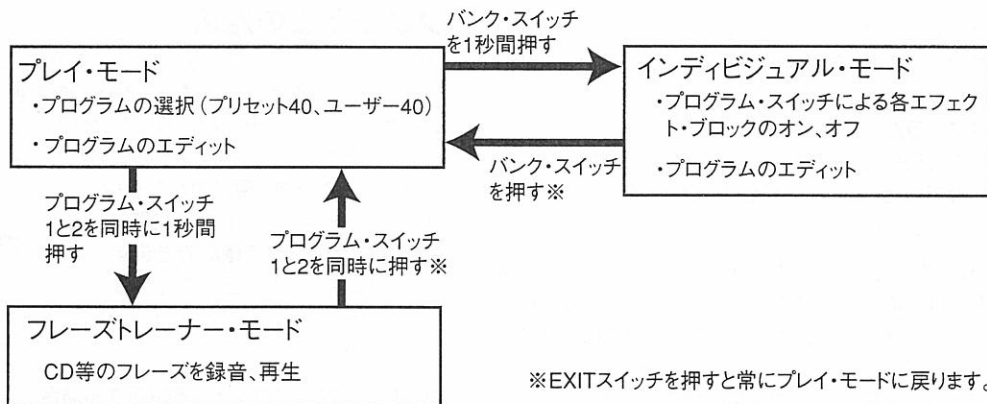
プレイ・モードは、プログラムを切り替えて通常の演奏をするモードです。高品位のエフェクト・モデルを使ったプリセット・プログラムが40、ユーザーが自由にエディットして好みのサウンドをつくるユーザー・プログラムが40の合計80プログラムの中から選びます。電源をオンにした直後は、必ずこのモードになります。

なお、工場出荷時はユーザー・プログラムには、プリセット・プログラムと同じプログラムが入っています。

インディビジュアル・モードは、フット・スイッチ(プログラム・スイッチとペダル・スイッチ)によって各エフェクト・ブロックを個別にオン、オフして演奏するためのモードです。このモードではプログラムの切り替えはできません。プログラムの選択はプレイ・モードで行います。

フレーズ・トレナー・モードは、AUX IN端子に接続されたCDやMDからフレーズを録音して、ループ(繰り返し)再生します。それに合わせて、繰り返し練習をすることができます。また、ピッチ(音の高さ)を固定して再生スピードを落とすことができるので、聞き取りにくいフレーズのコピーや練習に役立ちます。

 **フレーズ・トレナー・モード**に入ると、MODULATION、PEDAL、AMBIENCEの各エフェクト・ブロックが自動的にオフになります。



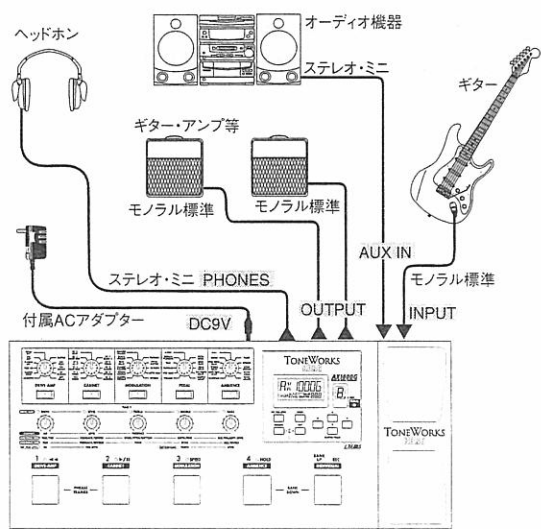
プレイ・モード、インディビジュアル・モードでは、エフェクト選択ツマミ等によってエフェクトのエディット、ノイズリダクションとプログラム・レベルの設定、プログラム名の変更などの操作を行うことができます。

2.演奏してみましょう

接続例

▲ 各接続は、必ず電源オフの状態で行ってください。不注意な操作を行うと、スピーカー・システム等を破損したり、誤動作を起こす原因となりますので十分に注意してください。

1. ケーブルをAX1000GのOUT PUT端子に接続し、ギター・アンプやミキサー等と接続します。モノラルで接続する場合は、L/MONO側に接続してください。AX1000Gの音質を活かすためにも、ステレオ接続をおすすめします。
2. ヘッドホンを使う場合は、PHONES端子にヘッドホンのプラグを差し込んでください。
- ▲** ヘッドホンを差しても、OUT PUT端子からの出力はカットされません。
3. INPUT端子にギターを接続します。
4. AUX INを使用するときは、外部オーディオ機器を接続します。音量は接続した機器で調整してください。
5. 付属のACアダプターをDC9Vの端子に接続し、ACアダプター本体をコンセントにさします。接続すると、電源が自動的にオンになり、ネーム・ディスプレイにプログラム名が表示されます。
- ▲** ACアダプターのコードは、コード・フックに引っ掛けてください。コードをフックから外すときは、無理に引っ張らないでください。
6. 接続が終わったら、ギター・アンプやミキサー等の電源を入れます。ギター等を弾いて音を出し、正しく接続されているかどうかを確認します。AX1000Gのマスター・レベルやギター・アンプ、ミキサー側のゲインやフェーダー等で、適度な音量に調整してください。



プレイ・モード

電源をオンにしたときは、必ずプレイ・モードになり、前回オフにしたときのプログラム、マスター・レベルの設定になっています。

マスター・レベルの調整

電源をオンにした直後やプログラムを選択した直後、またEXITスイッチを押した後などは、MASTER/VALUEディスプレイにマスター・レベルが表示されます。このとき、MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)でマスター・レベルを調整することができます。

入力レベルの設定

EXITスイッチを押しながら、MASTER/VALUEスイッチを押すと、接続する楽器の出力に合わせて入力レベルを設定することができます。

"HI IN" EXIT+▲: ハムバック等の出力レベルの大きいピックアップ向き

"LO IN" EXIT+▼: シングルコイル等の出力レベルの小さいピックアップ向き

プログラムの選択

プログラムは40個のプリセット・プログラムと、40個のユーザー・プログラムから選ぶことができます。

ユーザー、プリセットそれぞれに10個のバンクがあり、1バンクにつき4個のプログラムがあります。現在のバンクはバンク・ナンバー・ディスプレイで、プログラムはプログラムLEDで確認できます。ユーザー・プログラムを選択したときは、バンク・ナンバー・ディスプレイの右下の"."が点灯します。

ユーザー・プログラム
3
プリセット・プログラム
3

同じバンク内のプログラムを選択する場合

プログラム・スイッチ1~4を押して選択します。

選択したプログラムのプログラムLEDが点灯し、ネーム・ディスプレイにプログラム名が表示されます。

別のバンクのプログラムを選択する場合

バンク・スイッチを押してバンクを選択します(バンク・ナンバー・ディスプレイが点滅)。ユーザー・バンク0、1、2、3...9、プリセット・バンク0、1、2、3...9、ユーザー・バンク0、1、2、3...の順になります。

- バンク・スイッチを押すたびにバンク・ナンバー・ディスプレイの表示が1つ上がります。
- バンク・スイッチとプログラム・スイッチ4を同時に押すと、表示が1つ下がります。

目的のバンク・ナンバーが表示されたら、プログラム・スイッチ1~4を押して選択します。バンク・ナンバー・ディスプレイの点滅が点灯になります。

プログラムで使用しているエフェクト・ブロックの確認

プログラムによって、すべてのエフェクト・ブロックが使われてないものがあります。プログラムを選ぶと、使用しているエフェクト・ブロックのエフェクト・ブロックLEDが点灯します。使われてないエフェクト・ブロックのLEDは消灯します。

バイパス、ミュート

バイパス

現在選択されているプログラムの、プログラム・スイッチを0.5秒間押し続けると、全てのエフェクトがバイパスされます。このとき、プログラムLEDが点滅し、ネーム・ディスプレイに1秒間“BYPASS”と表示されます。バイパスを解除するときは、点滅しているLEDのプログラム・スイッチか、他のプログラム・スイッチを押します。

ミュート

現在選択されているプログラムの、プログラム・スイッチを1秒間押し続けると、INPUTの入力音(ギター等)がミュートされます。このとき、プログラムLEDの点滅が速くなり、ネーム・ディスプレイに1秒間“MUTE”と表示されます。

ミュートを解除するときは、点滅しているLEDのプログラム・スイッチか、他のプログラム・スイッチを押します。

オート・チューナー

バイパスまたはミュートにすると、自動的にチューナーが動作します。ミュートにしておくと、接続機器から音を出さずにチューニングができるので、ステージ等ではミュートにすることをお勧めします。

1. チューニングしたい音名が、バンク・ナンバー・ディスプレイに表示されるようにギターをおおまかに調整します。バンク・ナンバー・ディスプレイの右下の“.”が点灯したときは#を表します。
2. 5つのバリューLEDの中央だけが点灯(または、ネーム・ディスプレイの中央のみ表示)するようにギターを微調整します。

バリューLEDとネーム・ディスプレイによるチューニングずれ表示

	バリューLED	ネーム・ディスプレイ
低い方にずれているとき	☆ ☆ ☆ ○ ○	— — — — —
高い方にずれているとき	○ ○ ☆ ☆ ☆	— — — — —
チューニングがあっているとき	○ ○ ☆ ○ ○	— — — — —

キャリブレーションの変更

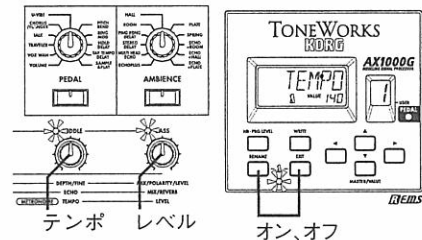
必要に応じて、キャリブレーション(基準ピッチAの周波数)を438~445Hzの範囲で変更します。

チューナーが動作しているときに、MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)を押して変更します。キャリブレーションの表示は、MASTER/VALUEディスプレイに表示されます。

変更したキャリブレーションは、電源をオフにすると無効となり、ふたたび電源をオンにすると、自動的に440Hzになります。

メトロノーム

1. RENAMEとEXITスイッチを同時に押しすと、メトロノームがスタートします。(メトロノーム・アイコンが点滅)。
2. バリュー・ツマミ4でテンポ(範囲40~208: MASTER/VALUEディスプレイに表示)を調整します。
3. バリュー・ツマミ5でメトロノーム音のレベル(範囲0~30: MASTER/VALUEディスプレイに表示)を調整をします。
4. メトロノームの動作中にRENAMEとEXITスイッチを同時に押しすとメトロノームが停止します。



メトロノーム動作中に、プログラムの切り替えやエディット等を行うと、テンポやレベルは調整できなくなります。テンポやレベルを再調整する場合は、一度メトロノームを停止してから、再度スタートさせてください。

バイパス、ミュート中は、テンポやレベルの調整はできません。

エクスプレッション・ペダル

エクスプレッション・ペダルで、PEDALエフェクト・ブロックの11種類のエフェクトを、リアルタイムにコントロールすることができます。

プログラムにPEDALエフェクト・ブロックのエフェクトが使われているときは、PEDALのエフェクト・ブロックLEDが点灯します。なお、ペダル・エフェクトのHOLD DELAY、TAP TEMPO DELAY、SAMPLE&PLAYは他のエフェクトとは操作方法が異なります(P.21参照)。

2.演奏してみましょう

エクスプレッション・ペダルを使った演奏

1. プレイ・モードでエクスプレッション・ペダルが使えるプログラムを選択します。
2. ペダルLEDが点灯していることを確認します。点灯してなければ、エクスプレッション・ペダルを1回深く踏み込んで、ペダルLEDを点灯(ペダルをオン)させてください。
3. ギターを演奏しながら、エクスプレッション・ペダルを操作します。ペダルを上下させると、それに応じて出力音が変わります。

▲ PEDALエフェクト・ブロックでVOLUMEを選択したときは、エクスプレッション・ペダルのオン、オフはできません。オンのまま(ペダルLEDが点灯)になります。

▲ エクスプレッション・ペダルのオン、オフは各プログラムには記憶されません。

▲ エクスプレッション・ペダルには必要以上の力を加えないようにしてください。あらかじめペダルLEDの点灯や、エフェクトのかかり具合に必要な力を確認してから、エクスプレッション・ペダルを操作してください。

インディビジュアル・モード

このモードでは、プログラム・スイッチやペダル・スイッチを押すことで、演奏中に個々のエフェクト・ブロックのオン、オフができます。

プレイ・モードと同様に、エディットやメトロノーム、プログラムのライトなどの操作を行うことができます。

▲ このモードでは、プログラムの切り替えとバイパス、ミュートはできません。

インディビジュアル・モードに入る

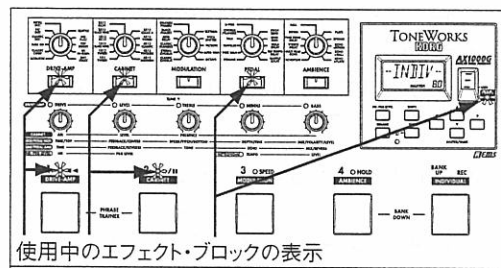
プレイ・モードで、バンク・スイッチを1秒間押し続けると、インディビジュアル・モードに入ります。ネーム・ディスプレイは"-INDIV-"、バンク・ナンバー・ディスプレイは"3"と表示します。

インディビジュアル・モードに入ると、プログラムLEDにエフェクト・ブロックごとのオン、オフ状態が表示されます(エフェクト・ブロックLEDと同期)。

それぞれ、DRIVE-AMPがプログラム・スイッチ(LED)1、CABINETが2、MODULATIONが3、AMBIENCEが4、PEDALがエクスプレッション・ペダル(ペダルLED)に対応しています。

プログラム・スイッチを押す度に、エフェクト・ブロックのオン、オフを繰り返します。ペダル・エフェクトについては、エクスプレッション・ペダルを深く踏み込むことでオン、オフを切り替えます(ペダルの下にスイッチがあります)。ただし、SAMPLE&PLAYなどの一部のペダル・エフェクトは、エクスプレッション・ペダルの使用方法が特殊なため、一度オンにしたらオフにはできません。

▲ MODULATIONとPEDALのエフェクト・ブロック、またはPEDALとAMBIENCEのエフェクト・ブロックでは、同時に使用できないエフェクトがあります。このような組み合わせの、エフェクト・ブロックの両方をオンにしようとしたときは、先にオンになっていた方が自動的にオフになります。




インディビジュアル・モードから出る

バンク・スイッチがEXITスイッチを押すと、プレイモードに戻ります。

フレーズ・トレーナー・モード

AUX IN端子に接続されたオーディオ機器(CDやMD等)からフレーズを録音して、ループ(繰り返し)再生します。それに合わせて、フレーズを繰り返し練習することができます。

また、ピッチ(音の高さ)を変えずに再生スピードを落とすことができるので、聞き取りにくいフレーズのコピーや、練習に役立ちます。

 このモードに入ると、MODULATION、PEDAL、AMBIENCEのエフェクト・ブロックが自動的にオフになります(フレーズ・トレーナー・モードから出ると元に戻ります)。

1. フレーズ・トレーナー・モードに入る

プレイ・モードで、プログラム・スイッチ1と2を同時に1秒間押します。

MASTER/VALUEディスプレイに録音モードの選択状態が表示され、フレーズ・トレーナー・アイコンが点滅します。

2. 録音モードの選択


MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)で録音モードを選択します。

ネーム・ディスプレイの表示が“SHT”では最大8秒間(高音質)、“LNG”では最大16秒間(長時間)の録音ができます。フレーズは、モノラルで録音/再生されます。

3. 録音開始

接続した機器をスタートさせ、録音を開始したいところでバンク・スイッチ(REC)を押すと録音を開始します。


ネーム・ディスプレイに“REC”と録音秒数が表示されます。

 いったんフレーズを録音してしまうと、録音モードは変更できません。録音モードを変更したいときは、プレイ・モードに戻ってから再度フレーズ・トレーナー・モードに入ってください。

4. 録音終了

録音を終了したいところで、プログラム・スイッチ2(▶/||)またはバンク・スイッチ(REC)を押します。録音が終了して、ネーム・ディスプレイに“PLAY”と表示され、自動的にループ(繰り返し)再生を開始します。

また、選んだ録音モードの最大時間まで録音すると、自動的に録音が終了します。

 接続されたオーディオ機器の音量によっては、歪む場合があります。このような場合は、オーディオ機器側で音量を調整してください。

 録音中はギター音がミュートされます。

録音をやり直すときは

プログラム・スイッチ2(▶/||)を押して再生を停止します。このあと、「3.録音開始」「4.録音終了」の操作をします。

録音したフレーズを消去するには

EXITボタンを押してフレーズを消去します。また、録音をやり直すと新しいフレーズが上書きされます。

5. 停止

プログラム・スイッチ2(▶/||)を押すと、再生が停止します。もう一度プログラム・スイッチ2(▶/||)を押すと、停止したところから再生を開始します。

- 停止中にプログラム・スイッチ1(◀◀)を押すと、録音したフレーズの先頭に戻ります。
- カーソル・スイッチを押すと、押ししている間だけ逆再生(◀)、または再生(▶)します。
- 録音中、停止中はAUX INに入力されている音が出力します。
- 録音中以外は、エクスプレッション・ペダルでエフェクト音のレベルを調整することができます。

6. 再生

録音中、停止中にプログラム・スイッチ2(▶||)を押すと、録音したフレーズをループ(繰り返し)再生します。プログラム・スイッチ3(SPEED)または、MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)を押すと、ピッチ(音の高さ)を変えずに再生スピードを落とすことができます。

- プログラム・スイッチ3(SPEED)を押す度に、再生スピードが、100%、75%、50%、25%、100%、...となります。
- MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)を押すと100%、95%、90%...25%と5%刻みで減速できます。

再生中にカーソル・スイッチ(▶)を押すと、押ししている間だけ現在の設定速度の2倍速で再生します。

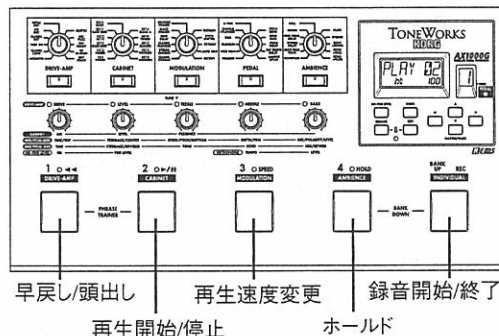
また、カーソル・スイッチ(◀)を押すと、押ししている間だけ逆再生をします。

プログラム・スイッチ1(◀◀)を押すと、押ししている間だけ早戻しをします。

7. ホールド


プログラム・スイッチ4(HOLD)を押すと、押した時点の音を保持することができます。もう一度押すと解除します。ホールド中にカーソル・スイッチを押すと、押ししている間だけ逆再生(◀)、または再生(▶)します。

プログラム・スイッチ1(◀◀)を押すと、1秒戻ってホールドを解除して再生を始めます。



フレーズ・トレーナー・モードから出る

プログラム・スイッチ1と2を同時に押すか、EXITスイッチを押すと、プレイ・モードに戻ります。

 フレーズ・トレーナー・モードを解除したり、電源をオフにすると、録音されたフレーズは消去されます。

3.エディット

プレイ・モード、インディビジュアル・モードでは、各エフェクトのエディット、ノイズリダクションとプログラム・レベルの設定、プログラム名の変更などのエディット操作を行うことができます。

▲ フリーズ・トレーナー・モードではDRIVE-AMP、CABINETのエフェクト・ブロックのエディットはできますが、ネーム・ディスプレイ、MASTER/VALUEディスプレイによる表示やカーソル・スイッチ、MASTER/VALUEスイッチによるエディット操作はできません。

エディット中はLCDのエディット・アイコンが点滅します。

動かしているツマミに割り当てられているパラメータ
エディット・アイコン EDIT VALUE 100 パラメータの値

エフェクトのエディット

エディットしたいエフェクト・ブロックのエフェクト選択ツマミを回すか、エフェクト・ブロック選択スイッチを押すと、エフェクト・ブロックLEDが点滅をはじめ、エディット対象として選択されたことを示します。

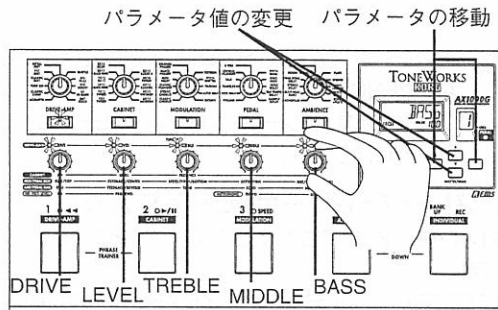
エフェクト選択ツマミ、エフェクト・ブロック選択スイッチ、バリュー・ツマミを使ってエディットします。

▲ エディットしたエフェクトを保存するには「プログラムのライト」を行ってください。「プログラムのライト」を行わないで電源をオフにしたり、他のプログラムに切り替えると元の設定に戻ります。

ここではDRIVE-AMPエフェクト・ブロックの、TUBE ODを例にとって説明します。

1. エフェクト・ブロック選択スイッチを押して、ネーム・ディスプレイに「TUBE OD」と表示されたときはそのまま、それ以外の場合は、DRIVE-AMPのエフェクト選択ツマミを回してTUBE ODに合わせます。最初から、エフェクト選択ツマミの位置がTUBE ODのときは、一度他のエフェクト・モデルに切り替えてから、再度TUBE ODに合わせてください。
2. エフェクト・ブロックLEDが点滅をはじめ、エディット対象として選択されたことを示します(ネーム・ディスプレイには、モデル名の「TUBE OD」が表示されます)。プログラムされていたエフェクトを選択した場合は、MASTER/VALUEディスプレイのORIGが点灯します。
3. 5つのバリューLEDが点灯し、それに対応したバリュー・ツマミはそれぞれ、DRIVE、LEVEL、TREBLE、MIDDLE、BASSが割り当てられ、各パラメータの値を調整するツマミとして機能します(P.16「エフェクト・パラメータ」参照)。

4. ツマミを回すと音色が変化し、ネーム・ディスプレイにそのツマミに割り当てられているパラメータ名が、MASTER/VALUEディスプレイにその値が表示されます。このとき、ツマミを回したときの値と、変更前の値(オリジナル・バリュー)が一致すると、MASTER/VALUEディスプレイのORIGが点灯します。



5つのバリュー・ツマミの代わりに、カーソル・スイッチを押して、パラメータを切り替えることができます。また、現在ネーム・ディスプレイに表示されているパラメータの値を、MASTER/VALUEスイッチ(▲、▼)で調整することもできます。

DRIVE-AMPエフェクト・ブロックを使用しない場合は、エフェクト・ブロックLEDが点滅している状態で、エフェクト・ブロック選択スイッチを押します(LED消灯)。DRIVE-AMPエフェクト・ブロックのエフェクトがバイパスされ、ネーム・ディスプレイに「-OFF-」と表示されます。

▲ MODULATIONとPEDALのエフェクト・ブロックまたは、PEDALとAMBIENCEのエフェクト・ブロックでは、同時に使用できないエフェクトがあります。このような組み合わせのエフェクト・ブロックを、両方をオンにしようとしたときは、先にオンになっていた方が自動的にオフになります。

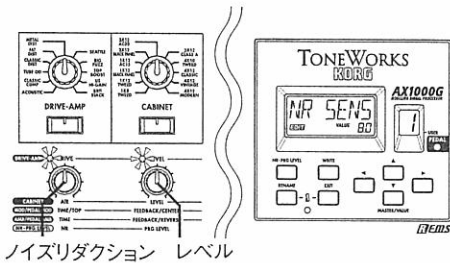
DRIVE-AMPエフェクト・ブロックのクイック・エディット

各モードの初期状態では、選択したプログラムに使われているDRIVE-AMPエフェクト・ブロックのエフェクトのパラメータが、バリュー・ツマミに割り当てられています(エフェクトがオフの場合を除く)。それぞれのバリュー・ツマミを回すとエディット状態(エフェクト・ブロックLEDとエディット・アイコンが点滅)になり、ネーム・ディスプレイにパラメータ名が、MASTER/VALUEディスプレイにその値が表示され音色が変化します。

- ▲ 使われているエフェクトを変更するときは、エフェクト選択ツマミで選びます。
- ▲ バリュー・ツマミに他の機能が割り当てられているときや、バイパス、ミュート、フリーズ・トレーナー・モードの録音中などはエディットできません。

ノイズリダクションとプログラ ム・レベルの設定

1. NR-PRG LEVELスイッチを押します。
2. バリューツマミ1,2を回したり、NR-PRG LEVELスイッチを押すたびに、ノイズリダクションのかかり具合と、プログラムごとのレベルの設定画面に切り替わります。
3. ノイズリダクションのかかり具合は、バリューツマミ1で調整します(範囲OFF~10: MASTER/VALUEディスプレイに表示)。
4. プログラムごとのレベルは、バリューツマミ2で調整します(範囲0~10: MASTER/VALUEディスプレイに表示)。
5. 設定が終わったら、EXITスイッチを押してプレイ・モードに戻ります。

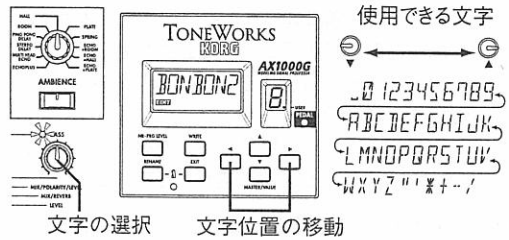


バリューツマミ1,2の代わりに、カーソル・スイッチを押してパラメータを切り替えたり、MASTER/VALUEスイッチ(▲, ▼)で、パラメータの値を調整することもできます。

- ▲ 使用するギターによっては、ノイズリダクションの値を上げ過ぎると、音が途切れることがあります。
- ▲ 使用するギターによって各プログラムの音量が変化します。ギターに合わせてプログラム・レベルを調整してください。
- ▲ エディットしたノイズリダクションと、プログラム・レベルを保存するには「プログラムのライト」を行ってください。「プログラムのライト」を行わないで電源をオフにしたり、他のプログラムに切り替えると元の設定に戻ります。

プログラム名の変更

RENAMEスイッチを押してプログラム名を設定します。カーソル・スイッチ(◀, ▶)で、変更したい文字の位置を選択し(文字が点滅)、バリューツマミ5(またはMASTER/VALUEスイッチ)で文字を変更します。なお、使える文字は下図のとおりです。



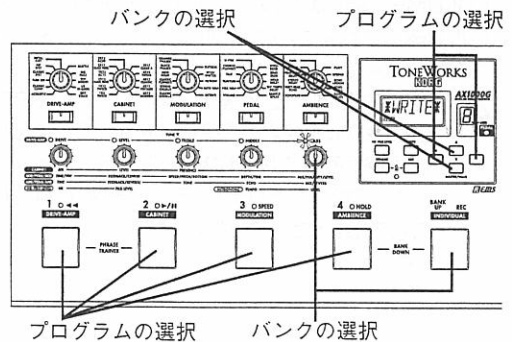
- ▲ プログラム名の変更を保存するには「プログラムのライト」を行ってください。「プログラムのライト」を行わないで電源をオフにしたり、他のプログラムに切り替えると元のプログラム名に戻ります。

プログラムのライト

エディットしたプログラムをライトします。

1. WRITEスイッチを押すと、ネーム・ディスプレイに「*WRITE*」と表示され、バンク・ナンバー・ディスプレイとプログラムLEDが点滅します。
2. MASTER/VALUEスイッチ(または、バリューツマミ5、バンク・スイッチ)でライト先のバンクを選択し、カーソル・スイッチ(または、プログラム・スイッチ)でライト先プログラムを選択します。
3. WRITEスイッチをもう一度押すと「COMPLT」と表示され、プログラムのライトが完了してプレイ・モードに戻ります。

ライトしない場合は、EXITスイッチを押してライト作業を解除してください。





- ▲ エディットしたプログラムを、他のプログラム・ナンバーにライトする場合は、上書きされたプログラムは消えてしまいます。
- ▲ プリセット・プログラムには、ライトすることができません。

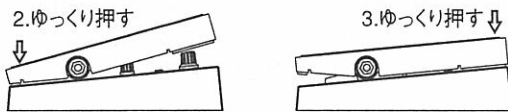
4.資料

エクスペッション・ペダルの調整(キャリブレーション)

エクスペッション・ペダルが使用しにくい場合は、この操作を行って最適に動作するように調整します。例えば、踏み込んだときにエフェクトが最大にならなかつたり、逆に戻したときに最小にならなかつたりする場合は、以下の操作で調整をしてください。

 調整するときは、手でペダルを操作してください。足で操作すると、正確に調整できないことがあります。


- EXITスイッチとPEDALのエフェクト・ブロック選択スイッチを同時に押しながら、電源をオンにします。ネーム・ディスプレイに約1秒間“PEDAL”と表示されてから“MIN”と表示されます。
- ペダルをゆっくりと戻し、止まったら手を離しWRITEスイッチを押します。
ネーム・ディスプレイの表示が“MIN”から“MAX”に変わります。
 調整を中止するときは、EXITスイッチを押してください。電源オン時の画面になり、プレイ・モードに入ります。
- ペダルをゆっくりと押し、止まったら手を離しWRITEスイッチを押します。



液晶ディスプレイに約1秒間“COMPLT”と表示されてから電源オン時の画面になり、プレイ・モードに入ります。


調整後、ペダルの状態を確認してください。

例えば、PEDALエフェクト・ブロックのエフェクトをVOLUME、値を“0”に設定し、戻したときのMIN時のレベルで確認する等、わかりやすいエフェクトを割り当てて確認してください。


 調整に失敗すると、液晶ディスプレイに“ERROR”と表示され、調整前の画面(“MIN”と表示)に戻ります。何回調整しても“ERROR”と表示されるときは故障の可能性があります。そのときは、(株)コルグ営業技術課または、お買い上げ店にお問い合わせください。


ユーザー・プログラムを工場出荷時の状態に戻すには(再ロード)

1. EXITスイッチとバンク・スイッチを同時に押しながら、電源をオンにします。ネーム・ディスプレイに“RELOAD?”と表示されます。

 EXITスイッチを押すと、再ロードされずに電源オン時の画面になりプレイ・モードに入ります。

2. WRITEスイッチを押します。ネーム・ディスプレイが“RELOAD”に変わり再ロードが始まります。再ロードが終わると“COMPLT”と約1秒間表示されてから電源オン時の画面になり、プレイ・モードに入ります。

 再ロード中は絶対に電源をオフにしないでください。

 再ロードすると、それまでのユーザー・プログラムはすべて書きかわります。また、マスター・レベル、入力レベル、メトロノームの設定も初期化されます。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、まず以下のことを確認してください。症状が改善されない場合は、お近くの販売店またはコルグ営業技術課までお問い合わせください。

1.電源が入らない

- * コンセントにACアダプターが接続されていますか? (☞P.6, 8)
- * 付属のACアダプターが接続されていますか? (☞P.6, 8)

2.音が出ない

- * ギター、アンプ、ヘッドホンはそれぞれの端子に正しく接続されていますか? (☞P.6, 8)
- * アンプの電源がオンになっていて、正しく設定されていますか?
- * 接続ケーブルが断線していませんか?
- * AX1000Gのマスター・レベルが“0”または、小さい値になっていませんか? (☞P.8)
- * AX1000Gのプログラムごとのレベルが“0”または、小さい値になっていませんか? (☞P.13)
- * DRIVE-AMPエフェクト・ブロックのエフェクトのLEVELが“0”または、小さい値になっていませんか?
- * ギター側のボリュームを絞っていませんか?
- * AX1000Gがミュートになっていませんか?
- * PEDALエフェクト・ブロックでVOLUMEを選んでいて、ペダルが戻りきっていませんか?

3.エフェクトがかからない

- * バイパスになっていませんか? (☞P.9)
- * プログラムで使うエフェクト・ブロックが、オンになっていますか? (☞P.4, 9)

4.メトロノームが動作しない

- * プレイ・モードまたは、インディビジュアル・モードになっていますか?
フレーズ・トレーナー・モードではメトロノームは動作しません。
- * メトロノームのレベルが“0”になっていませんか? (☞P.9)

5.ペダルが動作しない

- * PEDALエフェクト・ブロックのエフェクトが、使われているプログラムを選んでいますか? (☞P.9)
- * ペダルLEDが点灯していますか? (☞P.9)
- * エクスプレッション・ペダルの調整(キャリブレーション)を試してみてください。(☞P.14)

6.ライトができない(ネーム・ディスプレイに“ERROR”と表示される)

- * 再ロード中に電源をオフにしませんでしたか? 再ロードしてください。(☞P.14)

主な仕様

- エフェクト数
56タイプ(最大同時使用エフェクト数:8)
- プログラム数
80(プリセット40、ユーザー40)
- 入力
ギターインプット(モノラル標準ジャック)
AUX IN(ステレオ・ミニジャック)
- 出力
アウトプット×2(モノラル標準ジャック)
ヘッドホン(ステレオ・ミニジャック)
- チューナー
測定範囲
27.5Hz~2,093Hz(A0~C7)
キャリブレーション
A=438~445Hz
- メトロノーム
テンポ
♩=40~208
- 電源
DC9V付属ACアダプター
(コルグA30960J ⊕ ⊖ ⊖)
- 外形寸法
420(W)×187.7(D)×65.4(H)mm
(突起部を含む)
- 重量
2.4kg
- 付属品
取扱説明書、ACアダプター

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

エフェクト・パラメータ

DRIVE-AMPエフェクト・ブロック

コンプレッサー、オーバードライブ、ディストーションなどの音色を加工するエフェクトと、音質の調整をする3バンド・イコライザーの2つの組み合わせ、もしくはギターアンプのエフェクト・モデルです。

DRIVE-AMP	ツマミ1 DRIVE	ツマミ2 LEVEL	ツマミ3 TREBLE	ツマミ4 MIDDLE	ツマミ5 BASS
ACOUSTIC	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
CLASSIC COMP	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
TUBE OD	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
CLASSIC DIST	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
FAT DIST	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
METAL DIST	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
SEATTLE	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
BIG FUZZ	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
TOP BOOST	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
US HI-GAIN	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10
BRIT STACK	1~10	0~10	0~10	0~10	0~10

アコースティック・シミュレータ

エレクトリック・ギターをアコースティック・ギターの音色に変換するエフェクト・モデルです。

ACOUSTIC "ACOUSTC"

ネックに近いピックアップを使用すると、よりリアルなアコースティック・ギターが再現されます。

感度の調整が可能なコンプレッサーを内蔵しています。

音が歪む場合は、LEVEL、TREBLE、MIDDLE、BASSを少しずつ下げ調整してください。

- ツマミ1 DRIVE コンプレッサーの感度を調整。
- ツマミ2 LEVEL 出力レベルを調整。
- ツマミ3 TREBLE トレブル(高音域)の音質を調整。
- ツマミ4 MIDDLE ミッド(中音域)の音質を調整。
- ツマミ5 BASS ベース(低音域)の音質を調整。

コンプレッサー

コンプレッサーはレベルの小さな音は大きく、レベルの大きな音は小さくして、音量の差を圧縮し、音の粒立ちをそろえるエフェクターです。

CLASSIC COMP "CL COMP"

ピッキングの粒をそろえ、滑らかなサスティンが得られるコンプレッサーです。

音が歪む場合は、LEVEL、TREBLE、MIDDLE、BASSを少しずつ下げ調整してください。

- ツマミ1 DRIVE コンプレッサーの感度を調整。
- ツマミ2 LEVEL 出力レベルを調整。
- ツマミ3 TREBLE トレブル(高音域)の音質を調整。
- ツマミ4 MIDDLE ミッド(中音域)の音質を調整。
- ツマミ5 BASS ベース(低音域)の音質を調整。

オーバー・ドライブ、ディストーション、ファズ、アンプ

音量を適度に上げることで音を歪ませ、豊かな倍音を与えるエフェクト・モデルです。

TUBE OD "TUBE OD"

ピッキングのニュアンスを引き出す、'70年代のオーバー・ドライブを再現したモデルです。

CLASSIC DIST "CL DIST"

'70年代の代表的なディストーション・ペダルを再現したモデルです。

FAT DIST "FATDIST"

'80年代風のファットなサウンドのディストーション・ペダルを再現したモデルです。

METAL DIST "MTLDIST"

'90年代のメタリックな歪みを再現したモデルです。

SEATTLE "SEATTLE"

シアトルを発祥の地とするグランジ・ロックに最適なペダルのモデルです。

BIG FUZZ "BIGFUZZ"

ビッグなサウンドの代表的なファズを再現したモデルです。

TOP BOOST "TOP BST"

VOX AC30風の歪みを再現したモデルです。

US HI-GAIN "US HI-G"

USA MADEのハイ・ゲイン・アンプ風の歪みを再現したモデルです。

BRIT STACK "BRITSTK"

BRITISH MADEのスタック・アンプ風の歪みを再現したモデルです。

- ツマミ1 DRIVE 歪みの量を調整。
- ツマミ2 LEVEL 出力レベルを調整。
- ツマミ3 TREBLE トレブル(高音域)の音質を調整。
- ツマミ4 MIDDLE ミッド(中音域)の音質を調整。
- ツマミ5 BASS ベース(低音域)の音質を調整。

CABINETエフェクト・ブロック

ギター・アンプにとって、キャビネットの形状、スピーカーのタイプと数は、そのキャラクターを決める重要な要素です。

CABINETエフェクト・ブロックはビンテージ・アンプからモダン・アンプまで、様々なアンプのキャビネット、スピーカーの特性を忠実に再現するエフェクト・モデルです。

ミキサー等へのダイレクト出力時に特に大きな効果を発揮しますが、ギター・アンプの使用時にも効果を発揮します。

CABINET	ツマミ1 AIR	ツマミ2 LEVEL	ツマミ3 PRESENCE	ツマミ4	ツマミ5
1X8 TWEED	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
1X12 TWEED	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
1X12 BLACK PANEL	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
1X12 AC15	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
2X12 BLACK PANEL	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
2X12 AC30	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
2X12 CLASS A	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
4X10 TWEED	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
4X12 CLASSIC	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
4X12 VINTAGE	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		
4X12 MODERN	AP, 0.3~9.7, Ln	1~10	0~10		

1X8 TWEED "1-8 TWD"

8インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バックのキャビネット・モデルです。

1X12 TWEED "1-12 TWD"

12インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バックのブルー・ジューンな特性のキャビネット・モデルです。

1X12 BLACK PANEL "1-12 BLK"

12インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バックのブライトな特性のキャビネット・モデルです。

1X12 AC15 "1-12AC15"

12インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バック、プリティッシュ・タイプのキャビネット・モデルです。

2X12 BLACK PANEL "2-12 BLK"

12インチX2のスピーカーを持つ、オープン・バック、アメリカン・タイプのキャビネット・モデルです。

2X12 AC30 "2-12AC30"

12インチX2のスピーカーを持つ、オープン・バック、プリティッシュ・タイプのキャビネット・モデルです。

2X12 CLASS A "2-12 CLA"

12インチX2のスピーカーを持つ、オープン・バック、モダン・タイプのキャビネット・モデルです。

4X10 TWEED "4-10 TWD"

10インチX4のスピーカーを持つ、オープン・バックのキャビネット・モデルです。

4X12 CLASSIC "4-12 CLS"

25W、12インチX4のスピーカーを持つ、クローズド・バックのキャビネット・モデルです。

4X12 VINTAGE "4-12 VIN"

30W、12インチX4のスピーカーを持つ、クローズド・バックのキャビネット・モデルです。

4X12 MODERN "4-12 MDN"

75W、12インチX4のスピーカーを持つ、クローズド・バックのキャビネット・モデルです。

ツマミ1 AIR

キャビネットの共振や、スピーカー間の干渉によるコム・フィルターの効果を再現します。

値を小さくするとギター・アンプ接続向けの音になり、大きくするとライン向けの音になります。

ツマミ2 LEVEL

出力レベルを調整。

ツマミ3 PRESENCE

高音域の音質を調整。



音が歪む場合は、LEVEL、PRESENCEを少しづつ下げて調整してください。

MODULATIONエフェクト・ブロック

コーラス、フランジャー、フェイザー、ピッチ・シフター等のモジュレーション(変調)系のエフェクト・モデルです。

MODULATION	ツマミ1 TIME	ツマミ2 FEEDBACK	ツマミ3 SPEED/PITCH	ツマミ4 DEPTH/FINE	ツマミ5 MIX/POLARITY
CLASSIC CHORUS	---	---	0.1~10[Hz]	0~10	1, 2
STEREO CHORUS	1~10	---	0.1~10[Hz]	0~10	---
CLASSIC FLANGER	1~10	0~10	0.1~10[Hz]	0~10	---
MOD DELAY	0.5~900[ms]	0~10	0.1~10[Hz]	0~10	0~10
BLACK PHASER	---	0~10	0.1~10[Hz]	---	---
ORANGE PHASER	---	0~10	0.1~10[Hz]	---	---
TEXTREM	---	---	1~10[Hz]	0~10	---
PITCH SHIFTER	0~900[ms]	0~10	-24~24[x100 CENT]	-15~15[CENT]	0~10
FILTRON	1~10	0~10	---	0~10	up, dn
AUTO WAH	1~10	---	---	0~10	up, dn
OCTAVE	---	---	---	0~10	0~10

コーラス、フランジャー

コーラス、フランジャーは、音をわずかに遅らせて音程を揺らし、原音と混ぜ合わせることで音にうねりや広がり、ビブラート感を与えるエフェクターです。

CLASSIC CHORUS "CL CHOR"

ビンテージ・コーラスです。ステレオで使用すると、空間で音が混ぜ合わされ最も効果的です。

- ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。
- ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。
- ツマミ5 MIX 1: モノラル出力時に使用。
2: ステレオ出力時に使用。

STEREO CHORUS "ST CHOR"

左右でエフェクト音の位相を反転させて、広がりを与えるステレオ・タイプのビンテージ・コーラスです。3つのパラメータで多彩な効果がえられます。

- ツマミ1 TIME 音の遅れ時間を調整。
- ツマミ2 --- -----
- ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。
- ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。ツマミを10の位置にするとTIMEツマミは無効になります。

CLASSIC FLANGER "CL FLAN"

粘りのあるビンテージ・フランジャーです。設定によってコーラス、ビブラートのような効果も得られます。

- ツマミ1 TIME 音の遅れ時間を調整。効果のかかる帯域をコントロールします。
0に近いほど高い音程でうねります。
- ツマミ2 FEEDBACK クセの強さを調整。ジェット効果を得るときは適度に上げて使用します。
- ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。
- ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。ツマミを10の位置にするとTIMEツマミは無効になります。

MOD DELAY "MOD DLY"

ディレイ・タイムをゆらしてコーラス、フランジャーのような効果も得られます。

- ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ時間)を調整。
- ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
- ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。
- ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。
- ツマミ5 MIX 効果のミックス量を調整。

フェイザー

位相を周期的に変化させた音を原音に混ぜ合わせることで、音にうねりを与えるエフェクターです。段数が多くなるほどマイルドな音質になります。

BLACK PHASER "BL PHAS"

ポピュラーな4段のビンテージ・フェイザーです。

ORANGE PHASER "OR PHAS"

マイルドな効果が得られる10段のビンテージ・フェイザーです。

- ツマミ2 FEEDBACK クセの強さを調整。
- ツマミ3 SPEED 音のうねりのスピードを調整。

トレモロ

音量を周期的に変化させることによって、音に奥行きを与えます。

TEXTREM "TEXTREM"

ギター・アンプに内蔵されているトレモロを再現したエフェクト・モデルです。

- ツマミ3 SPEED トレモロの速さを調整。
- ツマミ4 DEPTH トレモロの深さを調整。

ピッチ・シフター

音程を変化させるエフェクターです。

PITCH SHIFTER "PITCH"

±2オクターブの可変幅を持つピッチ・シフターです。

- ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
- ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
- ツマミ3 PITCH 音程の変化幅を調整。
- ツマミ4 FINE 音程の変化幅を微調整。
- ツマミ5 MIX 効果のミックス量を調整。

オート・ワウ

ギターを引く強さによって、自動的に開いたり閉じたりするオート・ワウ・フィルターです。

FILTRON "FILTRON"

ロー・パス・フィルター・タイプのオート・ワウです。

- | | | |
|------|----------|--------------------------|
| ツマミ1 | TIME | ピッキングに対するワウの立ち上がりの早さを調整。 |
| ツマミ2 | FEEDBACK | ワウ音のピークを調整。 |
| ツマミ3 | ---- | ----- |
| ツマミ4 | DEPTH | ピッキングに対するのワウの変化する感度を調整。 |
| ツマミ5 | POLARITY | ワウの動作する方向を設定。 |


AUTO WAH "AUTOWAH"

ペダル・ワウと同等のバンド・パス・フィルター・タイプのオート・ワウです。DRIVE-AMPエフェクト・ブロックの前に配置されています。

- | | | |
|------|----------|--------------------------|
| ツマミ1 | TIME | ピッキングに対するワウの立ち上がりの早さを調整。 |
| ツマミ2 | ---- | ----- |
| ツマミ3 | ---- | ----- |
| ツマミ4 | DEPTH | ピッキングに対するのワウの変化する感度を調整。 |
| ツマミ5 | POLARITY | ワウの動作する方向を設定。 |

オクターブ

1オクターブ低い音を作りだし、原音に混ぜ合わせることによって音に重厚感を与えます。

 複数の弦を同時に弾いた場合や、低音弦では誤動作を起すことがあります。

OCTAVE "OCTAVE"

- | | | |
|------|-------|-------------------|
| ツマミ4 | DEPTH | 1オクターブ低い重低音の量を調整。 |
| ツマミ5 | MIX | 原音の量を調整。 |

PEDALエフェクト・ブロック

エクスプレッション・ペダルで、リアルタイムにコントロールできるエフェクト・モデルです。ボリューム・ペダルとモジュレーション系エフェクトのVOX WAH~RING MOD、アンビエンス系エフェクトのHOLD DELAY~SAMPLE&PLAYなどがあります。

 VOX WAH~RING MODは、MODULATIONエフェクト・ブロックと同時に使用することはできません。また、HOLD DELAY~SAMPLE&PLAYは、AMBIENCEエフェクト・ブロックと同時に使用することはできません。

PEDAL	ツマミ1 TOP/TIME	ツマミ2 FEEDBACK/ CENTER/REVERSE	ツマミ3 BOTTOM/SPEED/ PITCH/TONE	ツマミ4 DEPTH/FINE	ツマミ5 LEVEL/MIX/ POLARITY
VOLUME					0~10
VOX WAH					
TRAVELER		0~10			0~10
TALK	A, E, I, O, U	A, E, I, O, U	A, E, I, O, U		
CHORUS/FLANGER	1~10	0~10	0.1~10	0~10	
U-VIBE				0~10	1, 2
PITCH BEND	0~900[ms]	0~10	-24~24[x100 CENT]	-15~15[CENT]	0~10
RING MOD			1~10		
HOLD DELAY	0[ms]~3[SEC]	0~10	1~10		0~10
TAP DELAY	0[ms]~3[SEC]	0~10	1~10		0~10
SAMPLE&PLAY	0.5~8[SEC]	OFF, 1, 2, ..8, LP1, LP2			0~10


ボリューム

ボリューム・ペダルです。

VOLUME "VOLUME"
ツマミ5 LEVEL ペダルを上げて(戻して)いるときの最小レベルを調整。

ペダル・ワウ、トラベラー、トーキング・ペダル

ペダルで周波数をコントロールするワウ(フィルター)です。

 MODULATIONエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にMODULATIONエフェクト・ブロックがオフになります。


VOX WAH "WAH"
ピンチワウです。DRIVE-AMPエフェクト・ブロックの前に配置されています。パラメータはありません。

TRAVELER "TRAVEL"
ローパス・フィルター・タイプのワウです。
ツマミ1 ---
ツマミ2 FEEDBACK フィルターのピーク量を調整。
ツマミ3 ---
ツマミ4 ---
ツマミ5 LEVEL 出力レベルを調整。

TALK "TALK"
ギターがしゃべっているような効果が得られます。
ツマミ1 TOP ペダルを踏みこんでいるときの母音を選択。
ツマミ2 CENTER ペダルを半踏みしているときの母音を選択。
ツマミ3 BOTTOM ペダルを上げているときの母音を選択。
※母音---A, E, I, O, U

コーラス/フランジャー


ペダルでエフェクトのミックス量を、コントロールできるコーラス、フランジャーです。

 MODULATIONエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にMODULATIONエフェクト・ブロックがオフになります。

CHORUS/FLANGER "CH/FLAN"
ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)の調整。
ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。
ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。

ユー・バイブ

ペダル・バイブを再現します。

 MODULATIONエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にMODULATIONエフェクト・ブロックがオフになります。

U-VIBE "U-VIBE"
ツマミ4 DEPTH 効果の深さを調整。
ツマミ5 MIX 0: 原音とエフェクト音をミックス。(コーラス・モード)
1: エフェクト音のみ出力。(ビブラート・モード)

ピッチ・ベンド

ペダルでシフト量をコントロールできるピッチシフターです。

- AMBIENCEエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にMODULATIONエフェクト・ブロックがオフになります。

PITCH BEND "P BEND"

ツマミ1	TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2	FEEDBACK	フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3	PITCH	音程の変化幅を調整。
ツマミ4	FINE	音程の変化幅を微調整。
ツマミ5	MIX	効果のミックス量を調整。10の位置にすると、エフェクト音のみ出力されます。

リング・モジュレーター

音にサイン波を掛け合わせ、鐘の音のような音を作り出すエフェクターです。ネックよりのピック・アップを使用し、ギターのトーンを絞って、12フレット付近で演奏すると、よりきれいな効果が得られます。

- MODULATIONエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にMODULATIONエフェクト・ブロックがオフになります。

RING MOD "RINGMOD"

ペダルで周波数をコントロールできるリング・モジュレーターです。

ツマミ3	PITCH	ペダルを踏みこんだ時の音色を調整。
------	-------	-------------------

ディレイ

遅らせた音を原音にミックスすることで、音に厚みと広がりを与えます。

- AMBIENCEエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にAMBIENCEエフェクト・ブロックがオフになります。

HOLD DELAY "HOLDDLY"

通常はディレイとして動作しますが、ペダルを深く踏み込んでスイッチを押すと、ペダルLEDが点灯しホールド(ディレイ音が鳴りつづける)されます。ペダルの踏み具合で、ディレイへの入力レベルがコントロールできるので、サウンド・オン・サウンドなどの特殊効果が簡単に得られます。

TAP DLY "TAP DLY"

ペダル・スイッチを2回踏みこむと、そのテンポでディレイがかかるタップ・テンポ・ディレイです。テンポを決定している間、ペダルLEDが点灯します。

ツマミ1	TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2	FEEDBACK	フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3	STONE	エフェクト音の音質を調整。
ツマミ4	----	-----
ツマミ5	MIX	エフェクト音のミックス量を調整。

サンプル・アンド・プレイ

- AMBIENCEエフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にAMBIENCEエフェクト・ブロックがオフになります。

SAMPLE&PLAY "S+PLAY"

最大8秒の録音ができます。リバーブの設定によって、スクラッチのような特殊効果が得られます。

1. エクスプレッション・ペダルを深く踏み込んで、録音待機状態にします。このときペダルLEDが点滅します。
2. 接続したギターでフレーズ等を弾きます。ギターを弾いた時点で自動的に録音が開始され、ペダルLEDが点灯します。
3. TIMEで設定された録音時間が経過すると、録音が終了しペダルLEDが消灯します。また、設定された録音時間が経過しなくても、ペダルを深く踏み込む(ペダルSWを押す)と、その時点で録音を終了します。録音をやり直すときは、「1. エクスプレッション...」からくり返してください。

- 録音中にペダルを一度戻してから踏み込むと、その時点で録音を終了し、再生を開始することもできます。

4. エクスプレッション・ペダルを操作します。ペダルを踏んだときに、録音したフレーズが再生され、ペダルを戻すとREVERSEが×1~×8に設定されている場合は、その速さで逆再生されます。OFFの場合は通常再生のみです。LP1、LP2にすると、ペダルを踏んでいるときにループ(くり返し)再生します。ペダルを戻して、再びペダルを踏み込むと先頭から再生を始めます。

- ギターをある一定レベル以上の音量で弾かないと、録音は開始されません。

- 録音した音は、フレーズ・トレーナー・モードに入るか、電源オフにより消去されます。

ツマミ1	TIME	サンプル・タイム(録音時間)を設定。
ツマミ2	REVERSE	OFF: 踏んで再生、終わりまで再生後停止。 ×1~×8: 踏んで再生、戻して逆再生。 LP1: 踏んでループ再生、戻して停止。 LP2: 踏んでループ再生、戻して終わりまで再生後停止。
ツマミ3	----	-----
ツマミ4	----	-----
ツマミ5	MIX	サンプル音の出力レベルを調整。

AMBIENCEエフェクト・ブロック

ディレイ、リバーブ、エコー等の残響系エフェクト・モデルです。

AMBIENCE	ツマミ1 TIME	ツマミ2 FEEDBACK	ツマミ3 TONE	ツマミ4 ECHO	ツマミ5 MIX/REVERB
ECHO PLUS	60[mS]~3[SEC]	0~10	1~10		0~10
MULTI HEAD ECHO	180[mS]~3[SEC]	0~10	1~10	1, 2, 3, 4, 5	0~10
STEREO DELAY	0[mS]~3[SEC]	0~10	1~10		0~10
PING PONG DELAY	0[mS]~3[SEC]	0~10	1~10		0~10
ROOM	1~10		1~10		0~10
HALL	1~10		1~10		0~10
PLATE	1~10		1~10		0~10
SPRING	1~10		1~10		0~10
ECHO+ROOM	0[mS]~2[SEC]	0~10	1~10	0~10	0~10
ECHO+HALL	0[mS]~2[SEC]	0~10	1~10	0~10	0~10
ECHO+PLATE	0[mS]~2[SEC]	0~10	1~10	0~10	0~10

テープ・エコー・シミュレータ

アナログの磁気テープに音を録音し、少し離れた再生ヘッドから音を再生することによって得られる、テープ・エコーの独特の効果を再現するエフェクト・モデルです。

ECHO PLUS "ECHO+"

テープ・エコーを再現します。回転速度のムラによる音程のずれや、磁気テープによる音の歪みや音質劣化も再現します。

ツマミ1	TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2	FEEDBACK	フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3	TONE	エコーの音質を調整。
ツマミ4	---	-----
ツマミ5	MIX	エコーのミックス量を調整。

MULTI HEAD ECHO "MH ECHO"

3つの再生ヘッドを持ったテープ・エコーを再現します。磁気テープによる音の歪みや音質劣化も再現します。

ツマミ1	TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2	FEEDBACK	フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3	TONE	エコーの音質を調整。
ツマミ4	ECHO	1: 通常のエコー。 2: ♪♪♪「タ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。 3: ♪♪♪「タッ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。 4: ♪♪♪「タ・タ・ッタ」というリズムでディレイ音を再生。 5: ♪♪♪「タ・タ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。
ツマミ5	MIX	ディレイ音のミックス量を調整。

ディレイ

STEREO DELAY "ST DLY"

左右で時間差を持ったステレオ・ディレイが、広がりを与えます。

PING PONG DELAY "PP DLY"

音が左右に飛び交うステレオ・ディレイです。

ツマミ1	TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2	FEEDBACK	フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3	TONE	ディレイ音の音質を調整。
ツマミ4	---	-----
ツマミ5	MIX	ディレイ音のミックス量を調整。

リバーブ

部屋やコンサートホールの残響や、プレートやスプリングなどを用いたリバーブ機器の残響を再現したエフェクト・モデルです。

ROOM "ROOM"

スタジオ程度の小さな部屋から、ガレージ程度の中規模の部屋の残響を再現します。

HALL "HALL"

中規模ホールから大規模なホールの残響を再現します。

PLATE "PLATE"

プレート・リバーブを再現します。

SPRING "SPRING"

ギター・アンプなどに内蔵されている、スプリング・リバーブを再現したエフェクト・モデルです。

ツマミ1	TIME	残響の長さを調整。
ツマミ2	---	-----
ツマミ3	TONE	残響の音質を調整。
ツマミ4	---	-----
ツマミ5	MIX	残響のミックス量を調整。

ECHO+ROOM "ECHO RM"

スタジオ程度の小さな部屋から、ガレージ程度の中規模の部屋の残響を再現するルーム・リバーブと、ステレオ・ディレイの2つを同時に使える複合エフェクト・モデルです。

ECHO+HALL "ECHO HL"

中規模ホールから大規模なホールの残響を再現するホール・リバーブと、ステレオ・ディレイの2つを同時に使える複合エフェクト・モデルです。

ECHO+PLATE "ECHO PL"

プレート・リバーブと、ステレオ・ディレイの2つを同時に使える複合エフェクト・モデルです。

ツマミ1	TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2	FEEDBACK	フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3	TONE	ディレイ音の音質を調整。
ツマミ4	ECHO	ディレイ音のミックス量を調整。
ツマミ5	REVERB	残響のミックス量を調整。

プリセット・プログラム・パラメータ・リスト

オフのエフェクト・ブロックをオンにすると、斜体のエフェクト・モデルが選択されます。

CABINETエフェクト・ブロックには、各プログラムに適したキャビネット・モデルを選択しています。ミキサー等へのダイレクト出力時に使用する場合は、CABINETエフェクト・ブロックをオンにして使用してください。

バンク #	プログラム名	DRIVE-AMP	CABINET	MODULATION	PEDAL	AMBIENCE	NR-PRG
0	1 60'S	BIG FUZZ Value— 7.3 5.3 5 7 4.7	2x12 AC30 2.3 8 4.3	TEXTREM — 8 6.7 —	VOLUME — — — 0	ECHO PLUS 112 3.3 4 — 3.3 4 10	
	2 70'S	FAT DIST Value— 5.7 5.7 6.7 5.7 7.3	4x10 TWEED 2 8 4.3	BLACK PHASER — 1.3 0.14 —	VOLUME — — — 0	MULTI HEAD ECHO 356 3.7 4.7 3 3.7 3 10	
	3 80'S	CLASSIC DIST Value— 9.3 6 3 5.7 7.3	4x12 VINTAGE 3 9 4.7	MOD DELAY 9.5 3.7 0.38 4.3 6.0	VOLUME — — — 0	ECHO HALL 101 4 7 4.3 1 4 10	
	4 90'S	METAL DIST Value— 9 6.7 4 4 6.7	4x12 MODERN 1.7 8 6.3	MOD DELAY 625 0 0.32 4.3 6	VOLUME — — — 0	ECHO ROOM 61 0 5 6.3 4.7 4 10	
1	1 TELBLY	TUBE OD Value— 3 10 2 2.7 1.7	1x12 BLACK PANEL 1.7 6 7	TEXTREM — 4 5.3 —	VOLUME — — — 0	ECHO ROOM 125 4.3 10 7.3 6.7 OFF 10	
	2 TRIPPER	TOP BOOST Value— 2.7 9 6.7 4 7	2x12 AC30 2 8 4.3	CLASSIC CHORUS — 1 5 1 —	VOLUME — — — 0	ROOM 2.7 — 6.7 — 5 3 10	
	3 VOODOO1	BIG FUZZ Value— 5.7 6.7 5.7 3 4.3	4x12 CLASSIC 0.7 7 4.7	AUTO WAH 4 — — 5.3 UP	VOX WAH — — — —	HALL 5.3 — 1.7 — 3.3 6 10	
	4 VOODOO2	BIG FUZZ Value— 7 6 4.3 6 4.3	4x12 CLASSIC 1 9 3.7	BLACK PHASER — 0 8.0 —	U-VIBE — — — 5.7 1	PLATE 3.3 — 10 — 2.7 6 10	
2	1 SUGAR	TUBE OD Value— 6.7 7 4.7 3 8	1x12 AC15 2 10 0.7	CLASSIC CHORUS — 2 4.7 1	CHORUS/FLANGER 5.7 0 0.2 5.3 —	HALL 7.7 — 5.3 — 3 3 10	
	2 Z*P*LN	FAT DIST Value— 4.3 7.3 2.3 3.7 8.7	4x12 VINTAGE 1 8 6	ORANGE PHASER — 7.3 0.18 —	VOLUME — — — 0	ECHO HALL 80 4.3 5.3 5.3 1.7 4 10	
	3 LIZZY	BRIT STACK Value— 6.7 5.7 6.7 5.7 6.3	4x12 VINTAGE 2.3 7 5.7	PITCH SHIFTER 0 0 —12 0 10	PITCH BEND 0 0 —12 0 5	PLATE 3.3 — 9 — 3.7 6 10	
	4 WARPIGS	BIG FUZZ Value— 8 7 6.3 0 4.3	4x12 VINTAGE 2.3 8 5.7	MOD DELAY 529 4 0.5 6.3 5.3	VOLUME — — — 0	PLATE 3.3 — 9 — 3.3 6 10	
3	1 SUMMER	CLASSIC COMP Value— 1 8.3 4.3 3 8	2x12 BLACK PANEL 1 8 5.3	MOD DELAY 49.4 0 0.1 6 6.3	VOLUME — — — 0	STEREO DELAY 188 4.7 3 — 4 OFF 10	
	2 SCREAM	TUBE OD Value— 7.3 7.3 2.3 5 7	4x12 VINTAGE AP 8 0	ORANGE PHASER — 3.7 8 —	VOLUME — — — 0	ROOM 6 — 2.3 — 2.7 2.3 10	
	3 MR-FV	FAT DIST Value— 9.7 7 4 3 5	4x12 MODERN LN 9 4.3	AUTO WAH 8.3 — — 4.7 UP	VOX WAH — — — —	ECHO PLUS 420 4.7 4.7 — 4 6 10	
	4 AIN'T	CLASSIC DIST Value— 10 7 2.3 4.7 9	4x12 CLASSIC 0.7 8 7.3	CLASSIC FLANGER 1.3 4 0.26 3.3 —	CHORUS/FLANGER 1 4 0.26 3 —	MULTI HEAD ECHO 230 0 1.7 1 3.7 4 10	
4	1 TALICA	ACOUSTIC Value— 7.3 6.7 9.7 3 8	1x12 TWEED 1 7 10	STEREO CHORUS 3.3 — 0.38 5.7 —	VOLUME — — — 0	HALL 7.7 — 5.3 — 2.3 2.3 10	
	2 90'SVOX	TOP BOOST Value— 4 8 3.3 5 8	2x12 AC30 AP 9 0.3	TEXTREM — 8 6.7 —	VOLUME — — — 0	SPRING 4.3 — 5.3 — 2.3 OFF 10	
	3 CORN	METAL DIST Value— 9 6 8.3 2 8	4x12 CLASSIC 1.7 8 5.7	MOD DELAY 324 0 0.6 5.7 6.3	VOLUME — — — 0	ROOM 2.7 — 6.7 — 2.3 6.3 10	
	4 DYME	METAL DST Value— 10 6.3 8.7 1 6	4x12 MODERN 1.3 8 6	BLACK PHASER — 2.3 0.1 —	VOLUME — — — 0	ROOM 2.7 — 6.7 — 3.3 7 10	
5	1 3-HEAD-	TOP BOOST Value— 8.3 6.3 3 7 2.3	2x12 AC30 2.7 7 4.3	STEREO CHORUS 1.3 — 0.14 3 —	VOLUME — — — 0	MULTI HEAD ECHO 463 3.7 5.7 3 3.7 3 10	
	2 TAP DLY	TUBE OD Value— 7 7.7 0.7 4.3 6.3	1x12 BLACK PANEL 1.3 7 0.3	MOD DELAY 729 3.7 0.26 4.7 5.7	TAP DELAY 750 3.7 4 — 7.7	HALL 6.7 — 3.3 — 4.7 3 10	
	3 TOWER	SEATTLE Value— 2 6.3 6 4.7 6.3	4x12 VINTAGE 0.7 8 5.7	OCTAVE — — — 3.3 10	VOLUME — — — 0	MULTI HEAD ECHO 180 4.3 6 1 5 3 10	
	4 MONSTER	METAL DIST Value— 10 7.7 2.3 2.7 6.3	1x12 TWEED 1 7 8.3	PITCH SHIFTER 0 0 7 0 10	VOLUME — — — 0	ECHO PLUS 655 5.7 5.3 — 5.3 6 10	
6	1 HOLD	CLASSIC COMP Value— 5.7 8 1.3 4.7 8.3	1x12 AC15 1 7 4	STEREO CHORUS 1.7 — 1 5 —	HOLD DELAY 3.0 0 5.3 — 8.7	STEREO DELAY 750 5 5.3 — 5 OFF 10	
	2 S+P SLW	TOP BOOST Value— 8.3 6 4.3 5.7 7	2x12 CLASS A 1 8 5	MOD DELAY 841 4 0.6 6.3 3.7	SAMPLE&PLAY 8 1 — — 8.7	PLATE 2 — 5 — 6.3 3 10	
	3 S+P FST	US HI-GAIN Value— 10 7 3.7 2.7 6.3	4x10 TWEED 0.7 6 7.3	STEREO CHORUS 3.3 — — 0.38 5.7	SAMPLE&PLAY 8 3 — — 8.7	PING PONG DELAY 2 4 6.3 — 5 5 10	
	4 S/LOOP	BRIT STACK Value— 8.7 7 2.7 2.7 7	4x12 MODERN 2.7 9 5	STEREO CHORUS 3.3 — 0.38 5.7	SAMPLE&PLAY 8 LP2 — — 8.7	SPRING 3.3 — 8 — 5.3 6 10	
7	1 AC/CHOR	ACOUSTIC Value— 5 9.3 6.7 6.3 6.3	1x8 TWEED 1 8 9.7	STEREO CHORUS 3.3 — 0.44 5.7 —	VOLUME — — — 0	PLATE 3.3 — 9 — 5 3 10	
	2 CHORUS	CLASSIC COMP Value— 2.7 7 8.3 5.7 6	2x12 AC30 7.7 8 1.3	STEREO CHORUS 3.3 — 0.8 4 —	VOLUME — — — 0	SPRING 3.3 — 8 — 6 OFF 10	
	3 PHASCLN	CLASSIC COMP Value— 2 9.3 5.3 1 7.3	1x12 BLACK PANEL 1 7 8	BLACK PHASER — 1 0.14 —	VOLUME — — — 0	ECHO+ROOM 45 0 5.3 3.3 4 2 10	
	4 FLANGE	FAT DIST Value— 9.3 7.7 0.7 2.3 4.3	1x12 BLACK PANEL 1 8 7.7	CLASSIC FLANGER 1.7 3.3 0.16 8.3 —	VOLUME — — — 0	HALL 10 — 1.7 — 2.7 6 10	
8	1 FILTRON	CLASSIC COMP Value— 2 9 4 2 8.3	2x12 AC30 3.3 8 2.7	FILTRON 7 6 — 3.3 UP	VOLUME — — — 0	SPRING 7.3 — 5 — 5 3 10	
	2 TRAVEL	TOP BOOST Value— 4 6.7 3 7 7.3	2x12 AC30 8.7 8 3.3	BLACK PHASER — 3.3 0.6 —	TRAVELER — 6.7 — — 7	ROOM 4 — 1.7 — 3 3 10	
	3 FZ WAH	BIG FUZZ Value— 5.7 6.3 4.7 4 7	4x12 MODERN 1.7 9 5	AUTOWAH 2.3 — — 6.3 DN	VOLUME — — — 0	HALL 4.7 — 6.7 — 4 6 10	
	4 G + R	FAT DIST Value— 10 6.3 3.7 4 6.7	4x12 VINTAGE 1 7 5	ORANGE PHASER — 5 9 —	VOX WAH — — — —	ECHO+PLATE 1.2 4 7.3 5.7 2 6 10	
9	1 SPACE	CLASSIC COMP Value— 7.3 8.7 1 4 2.7	1x12 BLACK PANEL 1 9 6.7	PITCH SHIFTER 441 4.3 —5 0 10	PITCH BEND 441 4.3 12 0 5	HALL 3.3 — 5.3 — 5.3 3 10	
	2 SUBHARM	SEATTLE Value— 7 6.7 2.3 4 5	2x12 CLASS A 1 6 6	OCTAVE — — — 6 10	VOLUME — — — 0	ECHO+PLATE 320 3 4.3 5.3 4 4 10	
	3 RINGMAN	CLASSIC DIST Value— 7.3 7 1 4 8.7	4x12 VIN 1 6 8.3	CLASSIC CHORUS — — 0.2 3.3 2	RING MOD — — 7 —	MULTI HEAD ECHO 1.37 2 8.3 3.7 7 10	
	4 BIZKIT	BIG FUZZ Value— 10 4.7 8.3 6.3 5.3	4x12 CLASSIC 1 9 0.3	MOD DELAY 625 4 0.18 7.7 4	TALK 'A' 'E' 'I' — —	ROOM 3.3 — 9.3 — 6 7.3 10	

保証規定

ご注意(必ずお読みください)

この製品は、当社の厳密な製品検査に合格したものです。万一保証期間内に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は下記の保証規定により無償修理いたします。

保証条件

1. 本保証書の有効期間はご購入日より1年です。
2. 次の場合の修理は保証期間内であっても有料修理となります。
 - 消耗部品(電池など)を交換する場合。
 - お取扱方法が不適当のために生じた故障の場合。
 - 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
 - 故障の原因が本製品以外の、他の機器にある場合。
 - コルグサービスステーション及び、コルグ指定者以外の手により修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
 - 保証書に販売店名、ご購入日などが記入されていない場合あるいは、字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書の提示がない場合。
 - 日本国外で使用される場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理となります。

3. 保証期間が切れますと修理は有料になりますが、引き続き、製品の修理は責任を持ってさせていただきます。修理用性能部品(電子回路など)は通常8年間を基準に保有しております。ただし外装部品(パネルなど)の修理は類似の代替品を使用することもありますのでご了承ください。
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。移転先のコルグ製品お取り扱い楽器店、またはコルグ営業技術課までお問い合わせください。

お願い

本保証書に販売年月日の記入がない場合は無効となります。
 ※ 修理は、ご購入のの販売店に必ず本保証書を提示の上、ご依頼ください。記入不可能な場合はご購入の年月日を証明できる領収書等と一緒にご保管ください。
 ※ 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

アフターサービス

上記の保証規定によりアフターサービスをいたします。アフターサービスについてご不明の点は下記へお問い合わせください。

▼▲▼ 株式会社コルグ ▼▲▼

インフォメーション	〒168-0073	東京都杉並区下高井戸 1-11-17	☎ (03)5376-5022
東京営業所	〒168-0073	東京都杉並区下高井戸 1-11-17	☎ (03)3323-5241
名古屋営業所	〒466-0825	名古屋市昭和区八事本町 100-51	☎ (052)832-1419
大阪営業所	〒531-0072	大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館 7F	☎ (06)6374-0691
福岡営業所	〒810-0012	福岡市中央区白金 1-3-25 第2池田ビル 1F	☎ (092)531-0166

修理等のお問い合わせは最寄りの各営業所、または下記までお問い合わせください。

営業技術課	〒143-0001	東京都大田区東海5-4-1 明正大井5号営業所コルグ物流センター内	☎ (03)3799-9085
-------	-----------	--------------------------------------	-----------------

コルグ AX1000G 保証書 (日本国内有効)

本書は上記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。ご購入の日から満1年の間に万一故障が発生した場合は製品と共に本書をお買い上げの販売店にご持参の上、修理をご依頼ください。

おなまえ
おとところ

お買上げ日 年 月 日

販売店名

- 本社: 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-11-12 ☎ (03)3325-5691
- インフォメーション: 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-11-17 ☎ (03)5376-5022
- 東京営業所: 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-11-17 ☎ (03)3323-5241
- 名古屋営業所/ショールーム/スタジオ: 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町 100-51 ☎ (052)832-1419
- 大阪営業所: 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館 7F ☎ (06)6374-0691
- 福岡営業所: 〒810-0012 福岡市中央区白金 1-3-25 第2池田ビル 1F ☎ (092)531-0166

KORG